

平成15年8月28日

各位

株式会社 リそなホールディングス
(コード番号 8308)

ダイア建設株式会社の再生支援について

当社子会社の株式会社りそな銀行(頭取 野村 正朗)(以下、りそな銀行という)は、取引先であるダイア建設株式会社(以下、ダイア建設という)が策定した事業再生計画に同意のうえ、平成15年8月28日、同社と連名にて株式会社産業再生機構(以下、機構という)に対し再生支援の申し込みを行い、同日、機構より支援決定の通知を受けました。

この結果、りそな銀行以外の金融機関等の事業再生計画への同意を条件とし、りそな銀行はダイア建設に対し以下の金融支援を実施いたしますのでお知らせいたします。

記

1. ダイア建設株式会社の概要

所在地 : 東京都新宿区新宿6丁目28番7号
代表者 : 下津 一三
資本金 : 218億2,673万円
事業内容 : 不動産業

2. 金融支援の内容

貸出金のデットエクイティスワップによる株式取得額 : 400億円
債権放棄額 : 829億円
実施時期 : 平成15年度下期中

なお、当社子会社である埼玉りそな銀行、近畿大阪銀行、奈良銀行には本件に関する債権はありません。

3. 当該事実が当社の業績に及ぼす影響

上記の金融支援実施による当期の損失額は300億円程度と見込んでおります。なお、当期の業績予想につきましては、上記の影響に加えて、現在実施中であるデューデリジェンスの影響等を踏まえた業績について、予想することが可能になり次第、速やかに修正予想を公表する予定であります。

以上

ダイア建設株式会社の再生支援について（別紙）

本日、当社子会社のりそな銀行は、取引先であるダイア建設が策定した事業再生計画に同意のうえ、同社と連名にて産業再生機構に対し再生支援の申し込みを行い、同日、産業再生機構より支援決定の通知を受領いたしましたことを報告させていただきます。

りそな銀行が産業再生機構に対しダイア建設再生支援の申し込みを行った理由としては、平成15年5月、ダイア建設から受けた金融支援要請850億円の検討過程において、透明性を確保しつつ、ダイア建設の再生を確実なものとするためには産業再生機構による支援が必要不可欠なものであると判断したことによるものであります。

今般発表されたダイア建設の事業再生計画は、スポンサー候補であるレオパレス21の事業面での協力を受けることを前提とし、金融事業等のノンコアである事業からは完全に撤退のうえ、コア事業であるマンション分譲事業とマンション管理・リフォーム事業に注力していく計画であり、かつマンション分譲事業については、売上至上主義を排除するなど事業構造を抜本的に変革して行こうとするものであります。りそな銀行としては、ダイア建設が以上の施策を確実に実行していくことにより、事業再生計画は完遂されるものと確信しております。

また、計画の中で、経営責任および株主責任を果たしていただくことを前提とし、りそな銀行は1,229億円の金融支援を行ってまいりますが、この金融支援額は、ダイア建設を早期に再生させるためには必要不可欠な金額であると判断しております。

これまで、りそな銀行は主力銀行として資金面での支援実施等、ダイア建設再生に向け最大限の協力を実施してまいりました。今般、ダイア建設は、再生に向け、産業再生機構の支援、スポンサーとしてレオパレス21の支援を取付けさせていただいたうえで、再出発することとなりますが、りそな銀行は今後とも引き続き、産業再生機構、レオパレス21と協調のうえ、主力銀行としての役割を果たして行きたいと考えております。

以上